



\*ETK0245031C\*

## 光接続箱 e-BOX mini 工法書




この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してからご使用ください。  
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

### 対象製品

- ・ e-BOXmini<OD> (屋外 軒下壁掛け仕様)
- ・ e-BOXmini<ID> (屋内 壁掛け仕様)

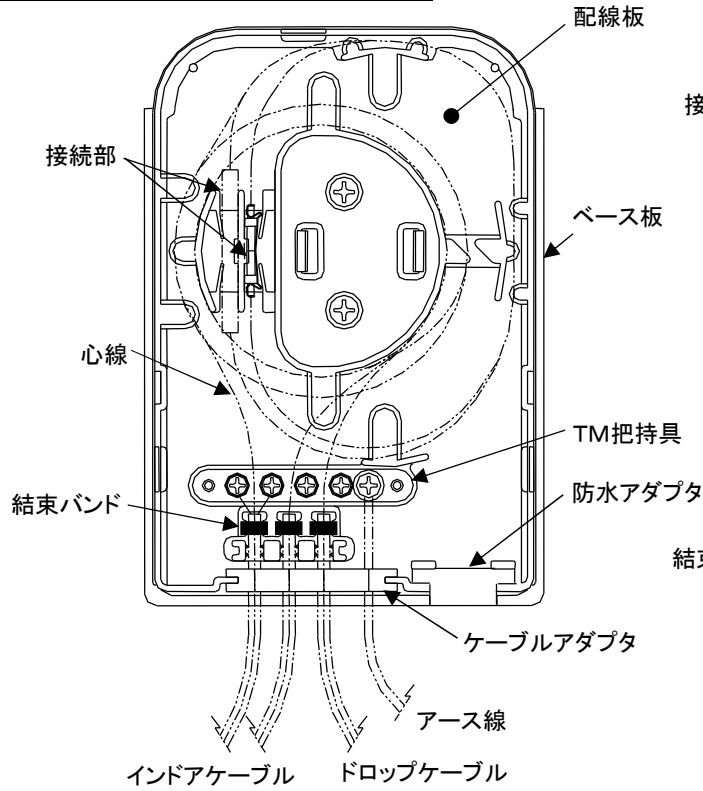
## ▽ 安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

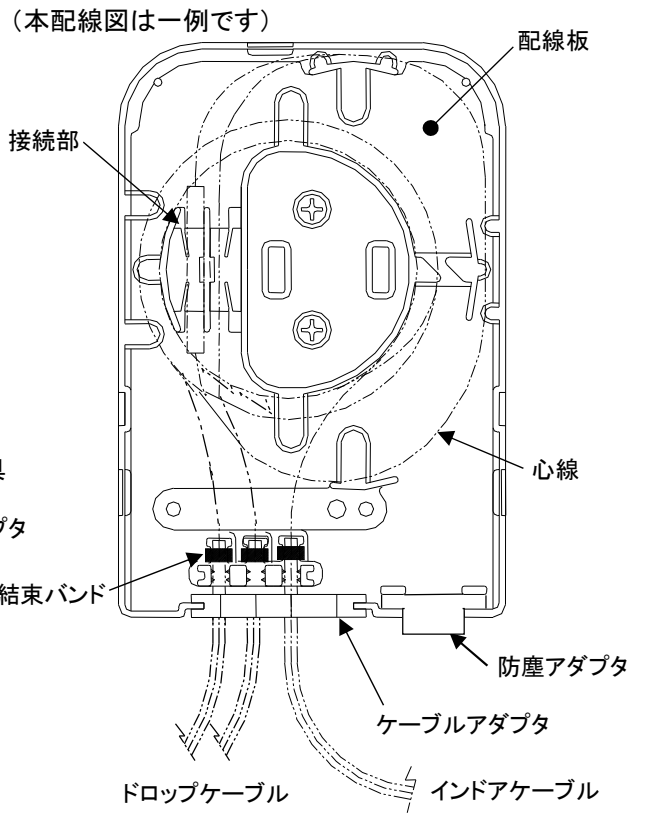
本製品に関する安全上のご注意	
 <b>危険</b> 右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
 <b>警告</b> 右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本製品は、落下などの無いように確実に固定してください。</li> <li>・ 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。</li> </ul>
 <b>注意</b> 右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。</li> <li>・ 本製品の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。</li> <li>・ 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。製品の機能低下及び破損の原因となります。</li> </ul>
<b>お願い</b> 右記の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光ファイバ心線に関しては、許容曲げ半径「<math>R \geq 30\text{mm}</math>」を守ってください。</li> <li>・ 融着接続作業は、ご使用の融着接続機の取扱い説明書をご覧ください。</li> <li>・ メカニカルスプライス及び現地組立て型単心コネクタは、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。</li> </ul>

**※ 工法書の内容は、製品の仕様変更等により予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。**

### 1. 接続／収納形態例 及び 部品構成



e-BOX mini<OD> 屋外仕様



e-BOX mini<ID> 屋内仕様

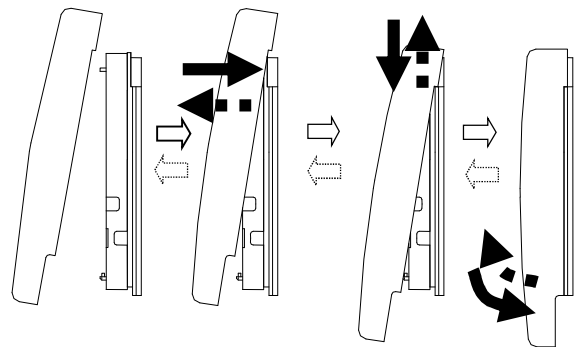
### 2. フタの開閉

#### 【開く場合】

フタの下側を手前に引出し、フタを上側にずらして取り外す。(図中破線矢印の動作)

#### 【閉める場合】

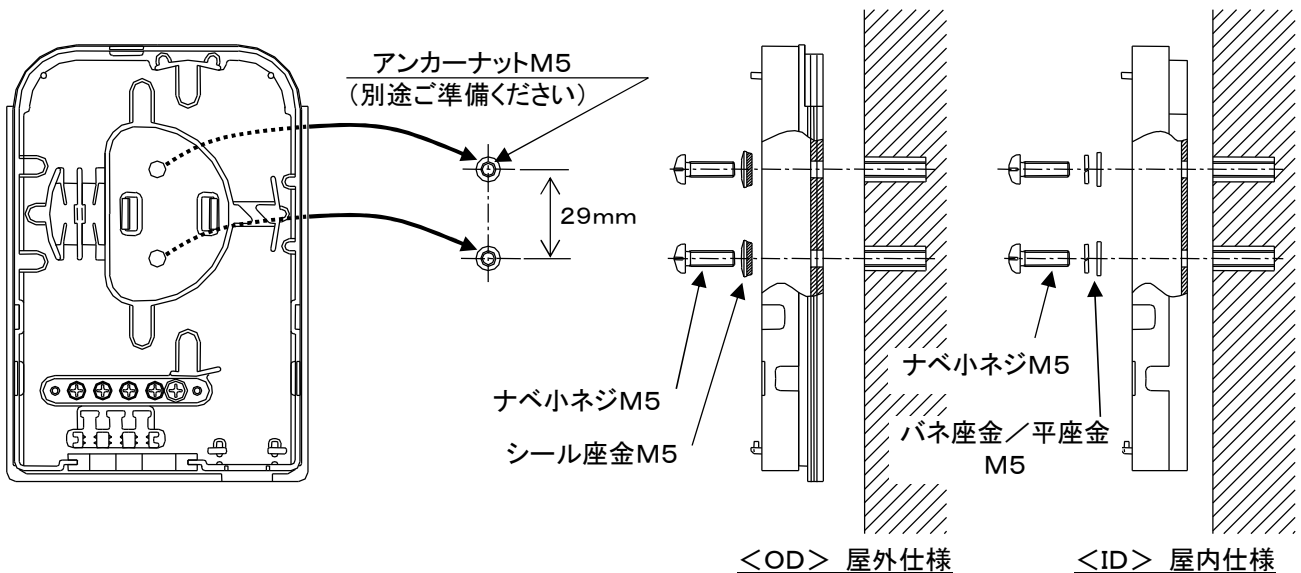
フタを斜めにし、上部を筐体の上側に被せてから下側をはめ込む。(図中実線矢印の動作)



### 3. 筐体の取付け

壁取付けなど、取付け相手にアンカーナット等を取り付けられる場合は、下図の寸法にてM5用アンカーナット(別途ご準備ください)を使用し、筐体をネジ(2カ所)で取付ける。

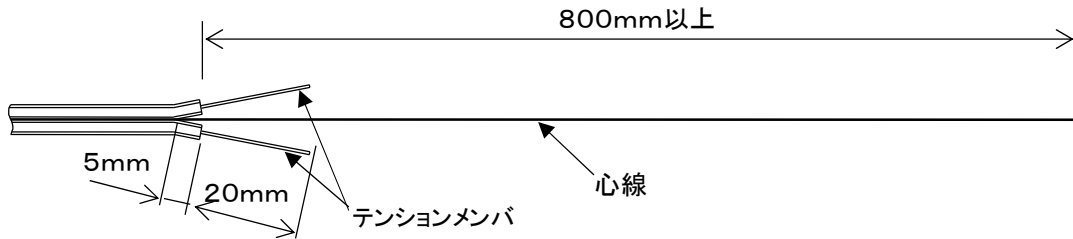
※取付けネジは、屋外用の場合はシール座金、屋内用の場合はバネ座金と平座金を用いて締めてください。



#### 4. ドロップケーブル／インドアケーブルの処理

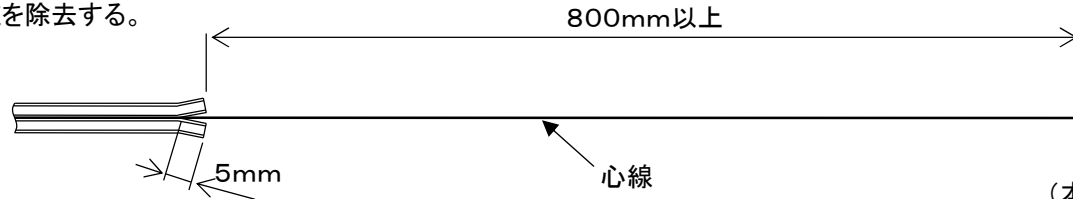
##### (1) テンションメンバがメタリックの場合

接続箱設置位置へケーブルを仮配線し、ケーブル固定位置を確認してから、下図の通り心線を取り出し外被を除去してテンションメンバを口だしする。



##### (2) テンションメンバがノンメタリックの場合

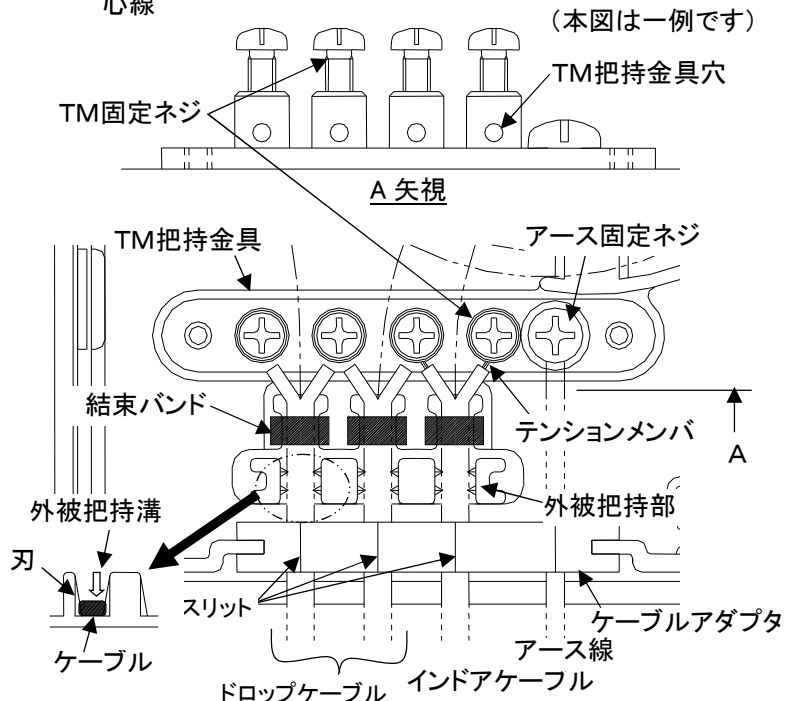
接続箱設置位置へケーブルを仮配線し、ケーブル固定位置を確認してから、下図の通り心線を取り出し外被を除去する。



#### 5. ケーブル及びアース線の固定

##### (1) ドロップケーブル／インドアケーブル

- ① スリットからケーブルアダプタにケーブルを導入する。
- ② 製品が<OD>でテンションメンバがメタリックの場合は、TM把持金具穴にテンションメンバを挿入し固定ネジを締め付け固定する。
- ③ 外被把持溝へケーブルを上から押し込み、溝側面の刃を食い込ませ外被を固定する。
- ④ 外被把持部上側にて、結束バンドで筐体にケーブルをしっかりと固定する。  
結束バンドの余長は適宜切断し除去する。



##### (2) アース線 (<OD>のみ)

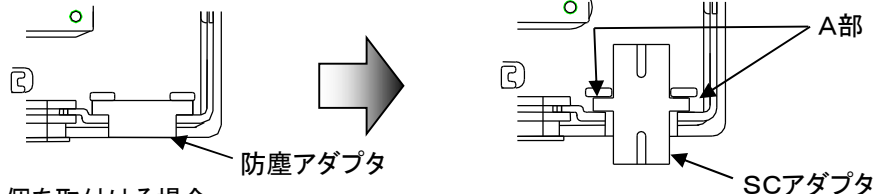
TM把持金具右側のアース固定ネジ(M4)でアース線を固定する。  
(アース線及び圧着端子は別途ご準備ください)

#### 6. アダプタの取付け

本体右下端の防塵アダプタを取り除くことにより、SCアダプタを最大2個取付けることが可能です。

##### (1) SCアダプタ2個を取付ける場合

防塵アダプタを取り除き、SCアダプタの耳をA部に挟み込むように取付ける。



##### (2) SCアダプタ1個を取付ける場合

防塵アダプタの中央部の切断線に沿って切断し、底面に切り取った防塵アダプタを取付け、その上にSCアダプタを上記(1)と同様に取付ける。



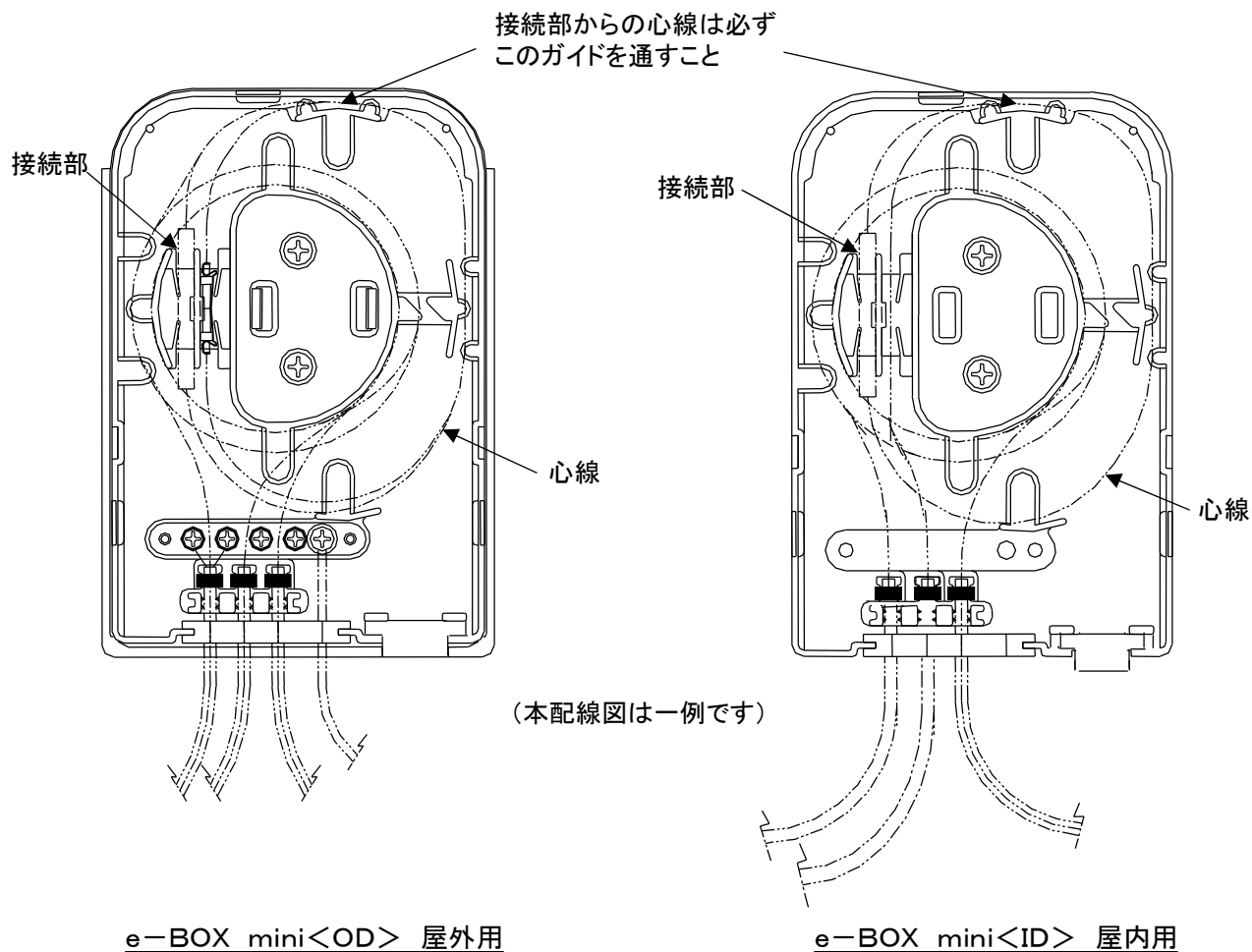
## 7. 心線接続

ご使用の心線接続機の取り扱い説明書に従い、心線接続する。

## 8. 心線余長収納

下図の通り、心線の曲げ半径を30mm以上確保し余長を収納する。

※接続部からの心線は外周のガイドを通さないと曲げ半径30mm以上確保できないため、必ず通してください。



以上